

運営方針の達成状況

○ 目標達成 × 目標未達成

経営課題1 地域力		達成状況
	戦略1-1 区民主体のまちづくりの仕組みの構築	
	1-1-1 地域活動協議会に対する財政的支援	○
	1-1-2 地域活動協議会に対する新たな担い手づくり支援	○
	1-1-3 地域コミュニティの支援	×
	1-1-4 活力ある地域社会づくりの支援	×
	戦略1-2 多様な協働による地域活動の活性化	
	1-2-1 区民による公益的活動の創出・発展支援事業	×
	1-2-2 広域・多様な区民・市民によるネットワークと東成ブランドイベントの育成事業	○
	1-2-3 未来わがまち推進会議を要とした区民主体のまちづくり活動への支援事業	○
	戦略1-3 民間委託、C B / S B 等の支援	
	1-3-1 区民による公益的活動の創出・発展支援事業	×
	戦略1-4 区民活動に質する人・情報・物等が流通する仕組みの構築	
	1-4-1 ブログやポータルサイト等を活用した人・情報・物等の流通の仕組みづくり	○
経営課題2 安全・安心（防災）		達成状況
	戦略2-1 安全・安心なまちづくり（防災対策）	
	2-1-1 避難所設置・運営訓練の支援	○
	2-1-2 防災啓発の推進	×
経営課題3 安全・安心（防犯）		達成状況
	戦略3-1 安全・安心なまちづくり（防犯対策）	
	3-1-1 子どもの犯罪対応能力の向上	○
	3-1-2 効果的な防犯体制の充実	○
	3-1-3 地域防犯の意識向上	○
経営課題4 子育て		達成状況
	戦略4-1 子育て不安を軽減し、安心して子育てできる取組の充実	
	4-1-1 子育てネットワーク構築支援事業	○
	4-1-2 なにわっ子すくすくスタート事業	○
	4-1-3 保育所待機児童の解消	○

経営課題 5 教育		達成状況
	戦略5 - 1 教育コミュニティの発展、学校と区役所の連携	
	5-1-1 はぐくみネットを核とした学校支援のネットワークの活性化支援	○
	5-1-2 特色ある学校づくりの支援	○
経営課題 6 保健		達成状況
	戦略6 - 1 健康づくりの推進	
	6-1-1 住民とともに考える健康づくり	○
	戦略6 - 2 感染症予防対策	
	6-2-1 感染症予防：草の根活動	○
経営課題 7 地域福祉		達成状況
	戦略7 - 1 高齢者・障がい者等支援セーフティネットの構築	
	7-1-1 「おまもりネット事業」を活用した高齢者・障がい者等支援セーフティネット構築事業	○
	7-1-2 地域保健・地域福祉推進支援事業	×
経営課題 8 区役所力の強化		達成状況
	戦略8 - 1 区民の区政参画、区政評価の仕組みの構築	
	8-1-1 区政会議運営事業	×
	8-1-2 区民モニター	○
	8-1-3 区民と区長のタウンミーティング等	○
	8-1-4 地域担当制の充実	×
	戦略8 - 2 情報発信機能の強化	
	8-2-1 広報事業の充実	×
	戦略8 - 3 便利で親切的な区役所づくり	
	8-3-1 区民サービスの向上と効率的な業務運営	○
	8-3-2 相談・調整機能の充実	○
	8-3-3 改革を担う職員と組織風土づくり	○

平成 26 年度 東成区 区政運営の振り返り

経営課題ごとの取組実施状況

経営課題 1 地域力

- ・地域コミュニティの継続・発展のため、より多くの区民が参加・参画できるよう、より一層、開かれた組織運営の地域コミュニティづくりを進めることが必要である。
- ・多様な区民が参画して地域活動を発展させていくためには、若い世代を中心に地域活動の認知度向上と新たな担い手づくりの支援が必要である。
- ・上記をかなえるために、人・モノ・情報等が流通する仕組みが必要である。

○主な具体的な取組内容

【 1 - 1 区民主体のまちづくりの仕組みの構築 】**地域活動協議会に対する財政的支援事業（予算額 16,600 千円）**

（＊地域活動協議会：校区等地域を単位として、様々な市民活動団体が幅広く参画し、開かれた組織運営と会計の透明性を確保しながら地域課題に取り組む、自律的な地域運営の仕組み）

業績目標

- ・東成区全地域が地域活動協議会補助金を活用し、地域活動をマネジメントしている。

取組実績

- ・区内全 11 地域に地域活動協議会補助金を交付し、地域の実情に応じた活動が行われた。

目標
達成**地域活動協議会に対する新たな担い手づくり支援（予算額 1,800 千円）****業績目標**

- ・既に地域活動協議会を形成している地域が、本補助金を活用し、初期プロモート事業を行う。（＊プロモート：促進すること。）

取組実績

- ・6地域に補助金を交付し、6事業が実施された。
- ・ハロウィンパーティー（北中道）、「家族のきずな」エッセイ募集（宝栄）、地域広報紙（誌）発行事業（神路、東中本、東小橋）、地域のマスコットキャラクターを利用した地域活動協議会の広報事業（中本）

目標
達成

地域コミュニティの支援〔予算額 15,933 千円〕

業績目標

- ・ 中間支援組織による支援により、地域の活動や地域課題について話し合うことが活発になっていると感じている校区等地域の割合：60%以上
- ・ 中間支援組織の支援により、地域活動協議会の会計処理について円滑に進んでいると感じている校区等地域の割合：60%以上

取組実績

- ・ 51.4%
- ・ 55.4%
- ・ 中間支援組織が積極的に地域に出向き、地域実情に応じた支援を行った。まちづくりの専門家として会計支援や組織運営支援を行うとともに、まちづくりのネットワークを活用し、勉強会や交流会などを実施した。

課題と改善策等

- ・ 【課題】中間支援組織を活用しながら、より一層民主的で開かれた組織運営を支援するとともに、自律的な地域運営組織をめざし、より専門的な支援を行う必要がある。
- ・ 【改善策】中間支援組織の活用を図りながら、勉強会や交流会を通じて、引き続き自律的な地域運営を支援する。

活力ある地域社会づくりの支援〔予算額 - 〕

業績目標

- ・ 地域で住民同士の「つながり」や「きずな」について、大切であると感じる住民の割合：95%以上（区民モニター）

取組実績

- ・ 90.4%
- ・ ひがしなりだよりやホームページを活用し地域活動に関する情報発信を実施した。

課題と改善策等

- ・ 【課題】地域活動を多くの区民に知ってもらうためには、積極的に情報発信する必要がある。
- ・ 【改善策】引き続き、情報発信に努めるとともに、中間支援組織を活用しながら、つながりが広がるよう支援する。

【1 - 2 多様な協働による地域活動の活性化】

区民による公益的活動の創出・発展支援事業〔予算額 6,324 千円〕

業績目標

- ・ ふれ愛パンジーを活用して公益的活動を創出または発展させた団体：10団体
- ・ 区民からの提案件数：3件

取組実績

- ・ 19団体
- ・ 2件
- ・ 公益的活動に関するセミナー「パンジートーク」の開催（5回）
- ・ CB/SBや市民活動に関する相談窓口の設置
- ・ ふれ愛パンジー公式ブログのリニューアル
- ・ ふれ愛パンジーフェスタ（市民活動団体交流会）（1回）

課題と改善策等

- ・ 【課題】提案制度については、事業提案を受けてから予算要求するのではなく、事前に予算枠を確保することとし、制度構築を行っている。
- ・ 【改善策】ふれ愛パンジーが活発に利用されるよう、補助金を受けるにあたっての公益的活動を要件としたふれ愛パンジーまちづくり活動支援事業を創設した。提案制度については、市民協働による公募型提案委託事業として実施する。

広域・多様な区民・市民によるネットワークと東成ブランドイベントの育成事業〔予算額 1,751 千円〕

業績目標

- ・ 隣接市等との連携事業数：5件
- ・ イベント参加団体数：90団体

取組実績

- ・ 5件
- ・ 91団体
- ・ 企画チーム会議の開催：31回 ・ 実行委員会の開催：1回

目標
達成

課題と改善策等

- ・ 【課題】多様な主体の参画するイベントとなったが、今後も継続的に実施できる仕組みをつくっていく必要がある。また、イベント内容により参加団体数が左右される。
- ・ 【改善策】運営委員会事務局が自主運営できるよう、他都市での成功事例を視察するなど自立に向けた支援をしていく。

未来わがまち推進会議を要とした区民主体のまちづくり活動への支援事業〔予算額 884 千円〕

業績目標

- ・ 未来わがまち推進会議の活動に参加したいと思う区民の割合（フォーラム参加者アンケート）：70%以上

取組実績

- ・ 未来わがまち推進会議の10年間の活動に対して良かったと回答した区民の割合（76%）
- ・ 全体会の開催：4回・班会議の開催：14回
- ・ 区民まつりでの広報活動（8月）
- ・ 区広報紙特集号の発行：1回 ・ わがまちフォーラムの開催：1回
- ・ アドプトリバープログラムによる平野川沿岸の清掃活動を実施：4回

目標
達成

課題と改善策等

- ・ 【課題】今後の地域活動における自主・自立に向けた取り組みを促すとともに、これまでの活動経験や成果を活かす新たなステージの検討が必要である。
- ・ 【改善策】ふれ愛パンジーまちづくり活動支援事業や、公募型提案委託事業などの制度を創設し、新たな公益活動の創出・発展を支援するとともに、各地域の素晴らしい取り組みが他の地域にも広がっていくよう、情報交換の場を設ける。

【1 - 3 民間委託、C B / S B等の支援】

区民による公益的活動の創出・発展支援事業（1 - 2 - 1 再掲）

【1 - 4 区民活動に質する人・情報・物等が流通する仕組みの構築】

ブログやポータルサイト等を活用した人・情報・物等の流通の仕組みづくり〔予算額 - 〕

業績目標

- ・ 「ふれ愛パンジー」ブログや掲示板の利用団体数：20団体

取組実績

- ・ 「ふれ愛パンジー」ブログや掲示板の利用団体数：35団体
- ・ ふれ愛パンジー公式ブログのリニューアル
- ・ ふれ愛パンジーフェスタ（市民活動団体交流会）：1回

目標
達成

課題と改善策等

- ・ 【課題】ブログのリニューアルや掲示板の整備を行ったものの、活発に活用されているとまではいえない状況である。
- ・ 【改善策】区民が区政情報を入手するために活用されている広報紙等にも市民活動情報を積極的に掲載していく。

経営課題 2 安全・安心（防災）

- ・ 地域では長期の避難所運営を想定した取り組みを強化して、11 避難所（全地域）が自主運営できるような、活動支援や防災啓発をする必要がある。
- ・ 防災啓発について、防災訓練などの機会を通じて進めていくとともに、特に地域との関係が弱い傾向にある住民を対象にした啓発が必要である。

○ 主な具体的な取組内容

【 2 - 1 安全・安心なまちづくり（防災対策） 】

避難所設置・運営訓練の支援〔予算額 1,735 千円〕 を含む

業績目標

- ・ 防災訓練や防災に関する取組等に参加したことがあると回答した区民の割合：45%

目標
達成

取組実績

- ・ 65%
- ・ 地域防災リーダーの技術訓練を全地域で実施。
- ・ 全地域での震災訓練と、それらと連携した区役所職員防災訓練の実施

**課題と改善策等**

- ・ 【課題】地域での訓練や防災活動に、現役世代や子育て世代など、幅広い世代や人材から、多くの方に参加してもらう必要がある。
- ・ 【改善策】訓練に講演会と実技を組み合わせたり、小学校と連携するなど、訓練内容の工夫と効果的な周知により、多くの人の参加を促して、地域での自助力、共助力の強化を図っていく。

防災啓発の推進〔予算額 - 〕 に含まれる

業績目標

- ・ 災害時における自助・共助の必要性の理解度：60%

取組実績

- ・ 56%
- ・ 様々な機会において東成区防災プランの説明を行った。
- ・ 防災啓発についての説明会や講演を実施した。（中学校3回）
- ・ 区広報紙で防災情報と東成区防災プランを広報した。

課題と改善策等

- ・ 【課題】災害による被害軽減のためには、防災啓発を推進し、正しい知識と住民による自助・共助の重要性の理解を広げていく必要がある。
- ・ 【改善策】区民の防災意識向上のため、区広報紙で防災特集を行い、防災情報の周知を図る。

経営課題 3 安全・安心（防犯）

- ・子どもも含む区民自身が、犯罪に遭遇した場合の緊急回避能力、犯罪の未然防止、被害者救助などの対応力を高める防犯啓発を行う必要がある。
- ・事案発生が多い時間帯・場所等を把握して、青パト巡回等を効果的に実施するなど犯罪の抑止活動を進める必要がある。
- ・区役所は関係機関や地域との連携を高め、区民を対象にした街頭犯罪防止キャンペーンなどの防犯啓発を効果的に実施していく必要がある。

○主な具体的な取組内容

【 3 - 1 安全・安心なまちづくり（防犯対策） 】

子どもの犯罪対応能力の向上〔予算額 1,437 千円〕 、 を含む

業績目標

- ・ 子ども防犯教室に参加した子どもの緊急回避行動の理解度：70%

目標
達成

取組実績

- ・ 90%
- ・ 区内 8 小学校で、計 12 回の子ども防犯教室を開催

**課題と改善策等**

- ・ 【課題】児童、保護者などのニーズにあった、効果的な子ども防犯教室を開催する必要がある。
- ・ 【改善策】昨年度実施した際のアンケート結果等を参考にして、より実践的で効果的な内容に改善するなど工夫を加えて実施する。

効果的な防犯体制の充実〔予算額 - 〕 に含まれる

業績目標

- ・ 青色防犯パトロールやあんパトの見守り活動が、防犯力の向上に有効であると感じている区民の割合：60%

目標
達成

取組実績

- ・ 98%
- ・ 地図に安まちメールで受けた警戒情報を色分けして落としこみ。
- ・ 毎月 1 回、警察署と防犯、交通安全等についての情報交換
- ・ 8 月より、街頭犯罪抑止チーム監視員による夜間啓発（LED 点灯式ベストの着用は東成区独自の取り組み）

**課題と改善策等**

- ・ 【課題】現在は安まちメールからの情報にしか対応できていない。
- ・ 【改善策】多様な地域安全情報を地図に落とすことで、より効果的な防犯活動に活かせるように改善を加えていく。

地域防犯の意識向上〔予算額 - 〕 に含まれる

業績目標

- ・ 防犯キャンペーンなどの啓発事業の参加者：700人以上

目標
達成

取組実績

- ・ 700人
- ・ 8月に区役所（250人）、3月に区民センター（450人）で、安全安心ミニフェスタを開催（計700人）
- ・ その他、自転車二重施錠促進などのキャンペーンを47回実施した。（延べ4,700人）



課題と改善策等

- ・ 【課題】各種キャンペーンやあんパトの巡回、街頭犯罪抑止チームによる巡回（8月～）等を実施しているが、依然として街頭犯罪は、ワーストワンの状況が続いている。
- ・ 【改善策】各種キャンペーンやイベント等の防犯啓発事業を継続して実施するとともに、昼間を中心に巡回しているあんパトチームと、夜間巡回の街頭犯罪抑止チームが、連携して効果的な巡回を行うように工夫していく。

経営課題 4 子育て

- ・地域社会全体で子育て中の保護者を支援していくなど、安心して子育てできる仕組みを構築していく必要がある。
- ・子育てに関して、さまざまな機会や多様な媒体を活用した情報提供が必要である。
- ・仕事と家庭の両立支援が図られるよう、保育所待機児童ゼロの状況を引き続き維持する必要がある。

○主な具体的な取組内容

【 4 - 1 子育て不安を軽減し、安心して子育てできる取組の充実 】

子育てネットワーク構築支援事業〔予算額 490千円〕

業績目標

- ・ 「ひがしなりっ子 すくすく・つながるクラブ」の新規登録者数：350名以上

取組実績

- ・ 407人
- ・ 地域子育てサークル合同イベントの開催（149組の親子の参加）
- ・ 子育て応援隊事業：12回（107組の親子の参加）
- ・ 子育てフォーラムの開催（186組の親子の参加）
- ・ プラザフェスタの開催（313人の参加）

目標
達成

**課題と改善策等**

- ・ 【課題】新規登録者数は概ね予定通り進捗しているが、保護者と地域の子育てを支える方々とのつながりづくりを支援するため、登録者をいっそう拡充する方策を検討する必要がある。
- ・ 【改善策】地域の関係団体・機関はもとより、地元店舗や企業と連携し、「ひがしなりっ子 すくすく・つながるクラブ」の登録カードの利便性を高め、登録者増につなげるとともに、子育て支援機会や情報発信等の充実を図る。

なにわっ子すくすくスタート事業〔予算額 227 千円〕

業績目標

- ・ 子育て世帯へのアンケートにおいて、地域の子育て情報が充実していると感じる人の割合：60%

取組実績

- ・ 88.2%
- ・ 編集会議：2回実施
- ・ 子育て情報誌の発行：1回

目標
達成

課題と改善策等

- ・ 【課題】子育て情報を充実するため、子育て中の保護者のニーズをより反映した内容にしていく必要がある。
- ・ 【改善策】地域子育てボランティアと企画・実施し、事業の充実を図るとともに、より多くの子育て世帯の参加を促していく。

保育所待機児童の解消〔予算額 - 〕

業績目標

- ・ 平成27年4月1日現在待機児童：0人

取組実績

- ・ 0人
- ・ ただし、他に利用可能な保育所があっても、特定の保育所を希望しているため待っている方など、引き続き調整を行っている。
- ・ 平成26年10月1日小規模保育「東中本みらい保育園」開設。定員19名中、19名の入所となっており、待機児童の解消につながっている。

目標
達成

課題と改善策等

- ・ 【課題】待機児童の解消に向け、引き続き民間保育所へ入所枠拡大を働きかけるとともに、待機児童家庭に、小規模保育事業の周知も図る。
- ・ 【改善策】各園を回り一人でも多くの入所枠確保に努める。また小規模保育の入所にあたり、広報紙で周知する。

経営課題 5 教育

- ・健全な生活習慣の形成や多様な体験ができる環境づくりのためには、家庭はもとより保育所や学校園、地域が連携して、子どもや学校を支える教育コミュニティを発展させる必要がある。

○ 主な具体的な取組内容

【 5 - 1 教育コミュニティの発展、学校と区役所の連携】

はぐくみネットを核とした学校支援のネットワークの活性化支援〔予算額 200 千円〕

業績目標

- ・ 区役所の支援が、地域や地域と保護者の連携による学校支援によって子どもたちを育んでいく活動や仕組みづくりにプラスになっていると感じる人の割合：60%以上（意見交換会・勉強会の出席者アンケート）

目標
達成**取組実績**

- ・ 100%
- ・ 教育委員会事務局とも連携し、大学教授を交えた交流会を3回開催

**特色ある学校づくりの支援〔予算額 - 〕****業績目標**

- ・ 区職員が協力した土曜授業等の実施回数：11回

目標
達成**取組実績**

- ・ 16回
- ・ 校長会等での意見交換：27回
- ・ 学校からの要請で、9小学校で16回、防犯・防災等の授業を実施した。



経営課題 6 保健

- ・地域社会全体で子育て中の保護者を支援していくなど、安心して子育てできる仕組みを構築していく必要がある。
- ・子育てに関して、さまざまな機会や多様な媒体を活用した情報提供が必要である。
- ・仕事と家庭の両立支援が図られるよう、保育所待機児童ゼロの状況を引き続き維持する必要がある。

○主な具体的な取組内容

【 6 - 1 健康づくりの推進 】

住民とともに考える健康づくり〔予算額 999 千円〕

業績目標

- ・地域健康講座におけるアンケート調査で、健康に関心をもった行動変容者 80%

取組実績

- ・ 89%
- ・健康づくり講演会（参加者275名） ・地域での健康講座：30回
（参加者延べ1,110名） ・健康づくり推進部会：3回

目標
達成



課題と改善策等

- ・【課題】健康寿命の延伸・壮年期死亡の減少のためには、食生活をはじめとする健やかな生活習慣が重要である。また、壮年期層の参加増が必要である。
- ・【改善策】健康づくり推進部会構成員との協働活動並びに各地域活動協議会との連携、協働活動により、一層の参加者増の推進をはかる。

【 6 - 2 感染症予防対策 】

感染症予防：草の根活動〔予算額 253 千円〕

業績目標

- ・事業参加者を対象とするアンケート調査で、感染症予防に関する理解度と正しい手洗い方法の継続意向を示す割合：70%以上

取組実績

- ・ 98%（実施した保育所（園）幼稚園結果）
- ・普及啓発活動：38回（参加者延べ2,367名）
- ・参加型の教室：29回（参加者延べ1,353名）

目標
達成



課題と改善策等

- ・【課題】基本的な感染症対策として、正しい手洗い方法が自主的に継続して取り組まれることが大切である。
- ・【改善策】感染症予防教室開催場所において、CD、チラシ等の活用により、自主的に実施できるよう努める。

経営課題 7 地域福祉

- ・ 地域におけるつながりづくりを基本としながら、東成区の特성에応じた高齢者や障がい者等を地域で支える仕組みの構築が必要である。

○ 主な具体的な取組内容

【 7 - 1 高齢者・障がい者等支援セーフティネットの構築 】

「おももりネット事業」を活用した高齢者・障がい者等支援セーフティネット構築事業〔予算額 22,966 千円〕

業績目標

- ・ おももりネット登録者数：3,000件

取組実績

- ・ 3,304件
- ・ 地域福祉活動サポーターを各小学校下に配置して「おももりネット事業」等の地域福祉活動を支援
- ・ 地域福祉フォーラムを開催・有償ボランティア活動推進のためきづくちゃん「たすけ愛」活動の会を設立・有償ボランティア講座5回
- ・ 約6,200件の要援護者情報を民生委員等に提供した。

目標
達成



課題と改善策等

- ・ 【課題】おももりネットについて、より幅広い対象者に周知していく必要がある。
- ・ 【改善策】すべての65歳以上の高齢者を対象に、おももりネットを周知し、登録者の拡大を図る。

地域保健・地域福祉推進支援事業〔予算額 635 千円〕

業績目標

- ・ 課題解決に向けた意見交換ができていると感じる人の割合：70%以上（専門分野別実務者会議の構成委員へのアンケート）

取組実績

- ・ 54%（高齢者支援、障がい者支援：目標達成、子育て支援、健康づくり推進：目標未達成）
- ・ 専門分野別実務者会議の開催
高齢者支援：4回（ワーキング会議：3回）・障がい者支援：5回（ワーキング会議：3回）・子育て支援：4回・健康づくり推進：3回

課題と改善策等

- ・ 【課題】すべての分野において、関係機関相互の情報共有が図られているが、課題整理に向けた進捗に差が生じている。
- ・ 【改善策】参加している実務者以外の関係機関とも連携を図り、よりスムーズに課題整理に向けた有効な議論が行えるようコーディネートしていく。

経営課題 8 区役所力の強化

- ・ 区民の意見やニーズ、あるいは評価を区政に反映させることはもちろんであるが、区政に関する情報が届けられていると感じている区民の割合が低いことから、区民ニーズに即した的確な情報発信とともに、いただいた意見に対する取組内容等の見える化などを積極的に行っていく必要がある。

○ 主な具体的な取組内容

【 8 - 1 区民の区政参画、区政評価の仕組みの構築】**区政会議運営事業（予算額 520 千円）****業績目標**

- ・ 区政会議の認知度：区民モニターアンケートで60%以上

取組実績

- ・ 55.9%（区民モニター）
- ・ 全体会議の開催：3回
- ・ 3部会の開催：各2回（計6回）

課題と改善策等

- ・ 【課題】区政会議に対する認知度が低い。
- ・ 【改善策】区政会議の周知を強化する。区政会議に対する関心を高めるため、より具体的なテーマで区民から意見を貰い施策や事業等に反映させる。

区民モニター（予算額 1,037 千円）**業績目標**

- ・ 区民モニターのアンケート回答率：70%

取組実績

- ・ 77%
- ・ アンケート3回実施（8月・11月・2月）

目標
達成**課題と改善策等**

- ・ 【課題】区民モニターの取組自体の認知度がまだまだ低い。
- ・ 【改善策】結果報告を区民モニターへの送付、HPでの公開の他にも、広報紙でも積極的に周知していく。

区民と区長のタウンミーティング等〔予算額 - 〕

業績目標

- ・ タウンミーティング等における参加者の満足度：70%以上

取組実績

- ・ 100%（3回測定）
- ・ タウンミーティング（各地活協）等：11回・区役所開催：1回
- ・ ふれあい喫茶、子育てサークル等：2回

目標
達成



地域担当制の充実〔予算額 - 〕

業績目標

- ・ 職員へ意識調査し、地域への関心が向上した割合：70%

取組実績

- ・ 55%
- ・ 地域の現状・ニーズを把握し、実情に応じた地域活動支援を行うことをめざし、各地域で開催される会議や行事に積極的に参加した。

課題と改善策等

- ・ 【課題】区役所全職員の地域への意識が向上するような取り組みを一層推進する必要がある。
- ・ 【改善策】メール等を活用し、職員間の地域情報の共有に取り組む。

【8 - 2 情報発信機能の強化】

広報事業の充実〔予算額 10,528 千円〕

業績目標

- ・ 区民モニターアンケートにおける広報の満足度：70%以上

取組実績

- ・ 68.3%
- ・ 地域情報の掲載：12回・広報板の活用：24回

課題と改善策等

- ・ 【課題】広報紙は新聞折込みと個別配付により配布を行っているが、情報を必要とする全ての区民にいきわたっていない。
- ・ 【改善策】広報紙の配布方法を全戸配布に切り替えることで、全ての区民に平等に区役所からの情報を届けていく。

【 8 - 3 便利で親切な区役所づくり】

区民サービスの向上と効率的な業務運営〔予算額 - 〕

業績目標

- ・ 来庁者への窓口サービス満足度調査による満足度：90%以上

目標
達成

取組実績

- ・ 97%



課題と改善策等

- ・ 【課題】高満足度を維持すること。
- ・ 【改善策】日常行っている投書形式の「来庁者満足調査」を有効活用すること。

相談・調整機能の充実〔予算額 - 〕

業績目標

- ・ 関係局等との連携によって取り組んだ事例：1件以上

目標
達成

取組実績

- ・ 12件
- ・ 老朽危険家屋対応：2事例完全解決、その他関係局との連携取組み10件



課題と改善策等

- ・ 【課題】相談事例が多様なため、事例内容により調整が困難な場合がある。
- ・ 【改善策】行政連絡調整会議・小会議での連携に加えて、現業職場事業所等連絡会議での連携で、より綿密な現場対応をする。

改革を担う職員と組織風土づくり〔予算額 - 〕

業績目標

- ・ やりがいがあると感じる職員の割合：50%
- ・ 局・事業所の職員が参加した区内の行事やイベントの数：5件以上

取組実績

- ・ 76%
- ・ 5件（区民まつり、ひがしなり街道玉手箱、防災訓練、春・秋の交通安全運動）
- ・ 職員と区長の意見交換会の開催（全職員が参加）
- ・ 行政連絡調整会議の開催：5回
- ・ 行政連絡調整会議小会議の開催：5回
- ・ 区民サービス向上PT会議の開催：10回
- ・ 時間有効活用プロジェクトの実施

目標
達成

課題と改善策等

- ・ 【課題】区長と職員の意識共有とモチベーションアップが持続できる組織になること。職員自らが向上心を持って改善に取り組むことのできる職場風土づくり。
- ・ 【改善策】意見交換会の手法を変えて年に複数回開催することや区長が職場へ出向き、朝礼や定例会議に出席して意識共有を図ること。職場改善やムダとりの取組みに対して区長表彰や目標管理の項目に取り上げる。

26 年度東成区運営方針自己評価シート

1 自己評価結果の総括

(1) 1 年間の取組成果と今後取り組みたいこと

平成 26 年度については、自律的な地域社会の実現と、生きがいを感じ、安全・安心でいきいきとしたまちをめざし、「地域力」「安全・安心（防災）」「安全・安心（防犯）」「子育て」「教育」「保健」「地域福祉」「区役所力の強化」の 8 つを経営課題として取り組んだ結果、概ね順調に進捗したと考えている。

- ・防犯対策については、子どもたちが防犯意識の大切さを学ぶ防犯教室や「安全安心ミニフェスタ」を開催し、子ども自身の防犯能力を高める取り組みを行った。また、全市で開始された街頭犯罪抑止チームの夜間巡回において、区独自に LED 点灯式ベストの着用を導入し、効果をあげたところである。
- ・子育て支援については、地域で子育てを支える方々と保護者とのつながりを支援するため「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」の運用を進めるとともに、地域子育てサークル合同イベント等を拡充して開催し、好評であった。今後もつながりを深めるために地元商店街等との連携によりカードの利便性の向上やイベントの充実を図る。
- ・地域福祉については、各小学校下に地域福祉活動サポーターを配置して、「おまもりネット事業」などの地域福祉活動を支援した。また、多様なニーズに応えるため有償ボランティア活動の仕組みの構築に取り組んだ。さらに、保健福祉課題を話し合う「専門分野別実務者会議」の開催や「ライフライン等の関連事業者と連携して高齢者・障がい者等の見守り」を継続実施した。引き続きセーフティネットの充実を図っていく。
- ・区民への情報発信については、地域への取材を積極的に行い地域情報を充実させるなど、わかりやすく魅力的な区政情報の発信に取り組んだ。また、広報紙の配布方法については、区政会議における区民委員の意見も取り入れ、来年度から全戸配布を導入するなど情報発信の強化に努める。

(2) 解決すべき課題と今後の改善方向

- ・区民主体のまちづくりの仕組みの構築については、区内全ての地域活動協議会への補助金交付、6 地域への地域活動の初期プロモート事業助成、中間支援組織による支援などを実施し、開かれた組織運営と会計の透明化の確保への取り組みが着実に進められている。しかし、こうした地域の情報をより多くの区民に届けるため、地域の情報発信力を向上するための支援を強化するとともに、区役所としても一層積極的に情報発信を行っていく。